

川内原子力発電所対策調査特別委員会記録

○開催日時

令和4年6月16日 午後4時～午後4時05分

○開催場所

第3委員会室

○出席委員（10人）

委員長	森永靖子	委員	阿久根憲造
副委員長	坂口健太	委員	犬井美香
委員	石野田浩	委員	山元剛
委員	森満晃	委員	坂口正幸
委員	井上勝博	委員	山中真由美

○事務局職員

事務局長	道場益男	課長代理	前門宏之
課長	川畑央	主幹兼議事グループ長	上川雄之

○審査事件等

- ・ 行政視察について
-

△開 会

○委員長（森永靖子）ただいまから、川内原子力発電所対策調査特別委員会を開会いたします。

本日の委員会は、お手元の審査日程により、審査を進めたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（森永靖子）御異議ありませんので、お手元の審査日程により、審査を進めます。

ここで、傍聴の取扱いについて申し上げます。

現在、1名から傍聴の申出がありますので、これを許可します。

なお、会議の途中で追加の申出がある場合にも、随時許可します。

△行政視察について

○委員長（森永靖子）それでは、行政視察についてを議題とします。

本委員会の行政視察については、関係機関と調整を行い、資料に整理しましたので、まず、書記から説明させます。

○書記（上川雄之）それでは、資料に基づきまして説明させていただきます。

今、タブレットのほうに配信させていただきましたけれども、大丈夫でしょうか。

お手元の資料を御覧ください。行政視察の概要という資料でございます。日程につきましては、7月11日月曜日から7月13日水曜日までの2泊3日で調整しております。

調査先につきましては、北海道の幌延町にある幌延深地層研究センターであり、調査項目については、高レベル放射性廃棄物の地層処分技術に関する研究についてで調整しております。

視察の行程の概要でございます。御覧のとおりでございますが、7月11日については途中の行程は省き、大まかな概要をお示ししており、今後調整により、変更の可能性があります。

朝7時20分に出発し、途中省いていますが、鹿児島空港、羽田空港と乗り継ぎがあり、1日目は移動日であります。

2日目は、車で移動いたしまして、7月12日の午前中に幌延深地層研究センターの予約を入れてあります。一応、1週間のうち2日、火曜日と木曜日しか見学ができなかったのもので、この日で調整してあります。見学が終わったら、帰って終わ

りという日程になっております。

7月13日については、移動日となりますが、飛行機の乗り継ぎの関係で、ちょっと帰りが遅くなる予定です。

○委員長（森永靖子）それでは、ただいま説明がありました。何か御意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（森永靖子）それでは、本委員会の行政視察について、お諮りします。

行政視察については、7月11日から13日までの2泊3日の日程で実施し、お手元の内容で調査したいと思います。

ついては、委員派遣の手続を委員長に一任いただきたいと思いますが、そのように取り扱うことで、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（森永靖子）御異議ありませんので、そのように決定しました。

以上で、行政視察についてを終了します。

△閉 会

○委員長（森永靖子）それでは、本日の日程は終了しました。

以上で、川内原子力発電所対策調査特別委員会を閉会したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（森永靖子）御異議ありませんので、以上で、川内原子力発電所対策調査特別委員会を閉会いたします。

薩摩川内市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに署名する。

薩摩川内市議会川内原子力発電所対策調査特別委員会

委員長 森 永 靖 子